

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査結果 (横浜市立日野南中学校)

平成29年4月に中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。  
2教科とも本校は全国や神奈川県、横浜市の平均正答率を上回っている状況でした。

## <全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題>

### 国語A (知識)

<b>全国よりも上回った問題・・・29問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。</li><li>・相手にわかりやすいように、語句を選択して話すことができる。</li><li>・書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くことができる。</li><li>・楷書と行書の違いや特徴を理解している。</li><li>・古典には様々な種類の作品があるということを知っている。など</li></ul>	<b>全国よりも下回った問題・・・3問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。</li><li>・漢字を書く。(店を営む。)</li><li>・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。(先生もこの書店をよく<u>ご利用になる</u>のですね。)</li></ul>
---	---

### 国語B (活用)

<b>全国よりも上回った問題・・・8問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・表現の仕方について考え、自分の考えを書くことができる。</li><li>・話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができる。</li><li>・相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように工夫して話すことができる。</li><li>・必要な情報を集めるための見通しを持つことができる。など</li></ul>	<b>全国よりも下回った問題・・・1問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することができる。</li></ul>
---	--

### 数学A (知識)

<b>全国よりも上回った問題・・・31問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる。</li><li>・円柱の体積を求めることができる。</li><li>・証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解している。</li><li>・具体的な事象における2つの数量の変化や対応を、グラフから読み取ることができる。</li><li>・二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している。など</li></ul>	<b>全国よりも下回った問題・・・5問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる。</li><li>・整式の加法と減法の計算ができる。</li><li>・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。</li><li>・与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している。</li><li>・与えられた度数分布表について、ある階級の総体度数を求めることができる。</li></ul>
---	--

### 数学B (活用)

<b>全国よりも上回った問題・・・11問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</li><li>・数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる。</li><li>・事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる。</li><li>・筋道を立てて考え、証明することができる。</li><li>・資料から必要な情報を読み取ることができる。など</li></ul>	<b>全国よりも下回った問題・・・4問</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</li><li>・証明した事柄を用いて、新たな性質を見出すことができる。</li><li>・与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。</li><li>・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</li></ul>
--	---

## <生活習慣・学習習慣（生徒質問紙結果より）>

日野南中学校の3年生と、全国と比較して特徴的な項目を挙げると次のようになります。

- ・朝食をきちんと食べ、毎日、同じ時刻に就寝している生徒の割合が多い。
- ・ものごとを最後までやり遂げたときに達成感を感じたり、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦したりする生徒の割合が多い。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意な生徒の割合が多い。
- ・テレビ、テレビゲーム、携帯電話・スマートフォンでの通話、メール、インターネットをやっている生徒の割合が多い。
- ・計画を立て、授業以外に平日、土日祝日を問わず、1日あたり3時間以上勉強する生徒が多く、復習より予習している生徒の割合が多い。
- ・学習塾に通っている生徒が多く、学校の勉強より進んだ内容や難しい内容を勉強している生徒の割合が多い。
- ・学校へ行くことが楽しいと思っている生徒の割合が多い。
- ・外国についての関心が高く、将来、留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思っている生徒の割合が多い。
- ・図書室や図書館の利用が少なく、読書もあまりしないという生徒の割合が多い。
- ・社会情勢に興味関心が高く、新聞を読んだり、テレビやインターネットでニュースを見たりする生徒の割合が多い。
- ・国語の勉強は大事、将来社会に出たときに役立つと思っている生徒が多く、文章で書く問題に粘り強く取り組んでいた。また、400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことなど文章を書くことが得意な生徒の割合が多い。
- ・数学の勉強は大事で、将来、社会に出たときに役立つと思っている生徒が多く、数学ができるようになりたいと思っている生徒が多い。解き方がわからない問題でも諦めずにいろいろな方法を考え、粘り強く取り組んでいた。

### 生活習慣・学習習慣（生徒質問紙結果より）の考察

現状通り朝食をきちんととり、睡眠時間や学習時間はしっかりと確保し続けてほしいです。また、テレビ、テレビゲーム、携帯電話・スマートフォンでの通話、メール、インターネットの時間を減らし、読書への関心を持ってほしいと思います。好きな授業がある生徒も多く、学習への意識は非常に高いので、このまま高い学習意識を維持できるように、支援していきます。自分の考えや意見を発表することや文章を書くことが得意な生徒が多いので、さらに伸ばしていけるように取り組んでいきます。家庭ともより密に連携をとりながら協力し、魅力ある学校づくりに努めます。

## 参考 <生活習慣と学力の相関（クロス集計）より>（横浜市教育委員会 指導企画課より）

### ○「主体的・対話的で深い学び」に関係すると考えられる項目との相関

- ・いずれの項目についても、「当てはまる」と回答した生徒の正答率が、「当てはまらない」と回答した生徒に比べ、8ポイント以上高くなっている。
- ・自分で課題を設定し、解決に向けて主体的・対話的に学習を進めたほうが、正答率が11ポイント以上高くなっている。
- ・学んだことを普段の生活に生かそうとする生徒のほうが、正答率が11ポイント以上高くなっている。

### ○横浜市で力を入れて取り組んでいる「自分づくり教育」「学校司書の配置」「国際社会で活躍できる人材育成」に関係すると考えられる項目との相関

- ・自分にはいいところがあると思うかに関しては、「当てはまる」と回答した生徒の正答率が、「当てはまらない」と回答した生徒に比べ、6ポイント以上高くなっている。
- ・学校図書館に週に1～4回程度行くと回答した生徒の正答率が、「当てはまらない（ほとんど、または、全く行かない）」と回答した生徒に比べ、3ポイント以上高くなっている。
- ・外国の人や外国に興味があると回答している生徒の正答率が、「当てはまらない（そう思わない）」と回答している生徒に比べ、7ポイント以上高くなっている。

## <調査結果から考えられる授業改善の視点>

- ・基礎的な知識及び技能の習得を図るとともに、知識及び技能を活用して課題を解決する授業展開を行う。
- ・基礎的な知識及び技能の確実な定着を図るために、家庭・地域と連携した学習習慣の定着に向けた取組を推進する。
- ・学んだことを生かそうとする生徒の育成のために、教科等の枠を超えて育成を目指す資質・能力を明確にする。
- ・身に付けた力を自覚させるために、目標を明確にし、何ができるようになり、どのように学んだかを振り返るような授業にする。